



匣分町鑑  
東京音附  
懷中東京  
福田朱造編

和装本

ル 4  
3768  
1





門 凡 4  
 號 3768  
 卷 1

早稻田大學圖書部  
 昭和25.11.15  
 購 來

三	警視各方面管轄所	二
四	裁判所	三
五	電信局	三
六	郵便局	三
七	驛遞局貯金預り局	三
八	官立公立學校	四
九	官立病院	五
十	御大祭及び礼服着用日	五
十一	明治十一年日曜日表	六
十二	區分町村一覽	七
十三	迷子報標	十四
十四	東京繁華の地	十四
十五	高名の橋梁	十五
十六	渡り場	十七
十七	有名の新聞雜誌	十七
十八	劇場及び貸坐敷	十八
十九	有名の温泉	十九
二十	拜觀の地	二十
廿一	公園	二十
廿二	公園遊園遊觀の地	廿一
廿三	四季遊觀案内	廿一



門 凡 生  
 號 3768  
 卷 1

早稻田大學圖書部  
 昭和25.11.15  
 購

書中目次

一	東京略説及び區分	一丁
二	皇城及び諸省局地位	一丁
三	警視各方面管轄所	二丁
四	裁判所	三丁
五	電信局	三丁
六	郵便局	三丁
七	驛遞局貯金預り局	三丁
八	官立公立學校	四丁
九	官立病院	五丁
十	御大祭及び礼服用日	五丁
十一	明治十一年日曜日表	六丁
十二	區分町村一覽	七丁
十三	迷子報標	十四丁
十四	東京繁華の地	十四丁
十五	高名の橋梁	十五丁
十六	渡一場	十七丁
十七	有名新聞雜誌	十七丁
十八	劇場及び貸坐敷	十八丁
十九	有名温泉	十九丁
二十	拜觀の地	二十丁
廿一	公園	二十丁
廿二	公園遊園遊觀の地	廿一丁
廿三	四季遊觀案内	廿一丁



㊦ 每日魚市場	廿三丁
㊧ 每日書物古着市場	廿三丁
㊨ 植木市場	廿三丁
㊩ 毎夜雜物市	廿四丁
㊪ 有名の神社	廿四丁
㊫ 有名の寺院	廿六丁
㊬ 府下神佛總數	廿八丁
㊭ 六阿弥陀	廿八丁
㊮ 六地藏	廿八丁
㊯ 七天神	廿八丁
㊰ 七福人	廿九丁
㊱ 東京人日用雜記	廿九丁
標札書式	
㊲ 府内郵便并金子入	三十丁
㊳ 府下雜品運送賃錢	三十丁
㊴ 府下乗合馬車賃錢	三十丁
㊵ 鐵道時刻并賃錢	三十一丁
㊶ 東京より電信賃錢	三十一丁
㊷ 中仙道郵便馬車賃錢	三十二丁
㊸ 同紙幣運送料	三十二丁
㊹ 東京より乗合馬車賃錢	三十三丁
㊺ 練井村川蒸氣賃錢	三十四丁
附録 上野勸業博覽會細番	
目次畢	

區分町鑑  
東京區附  
懷中東京案内  
福田榮造編

一 東京略説及び區分

○東京を元江戸と稱へ武藏

國豐嶋郡 隅田川を境として 荏原郡 品川より六郷の間

葛飾郡 本所深川葛西

三郡に跨り東西二

里六町東北二里廿九町余隅

田川其東部を繞り東南を品

川に臨む。明治元年十月三

日鳳輦東京幸阿りてより名を

東京と改め東京府を置て之

を管轄せしめ府の内外を區

域して其朱引内を六大區と

分ち七十小區を置く 明治七年の調査

引内の市坊千七百七十六町戸數十四万九千三百八十三戸人口五十九万五千九百〇五



今朱引外を合せて十一大區  
 東京府の管轄石高十六万四千八百  
 石余戸数二十万二千二百二十六人口  
 八十二万三千五百余ありといふ  
 ○東京を實は皇  
 國の帝都万機政令の出る所  
 官舎の廣壯なる橋梁の華麗  
 たる人煙稠密樓閣鱗差馬車  
 縦横を走り信線蛛網を懸り  
 瓦斯燈玲曜として夜も猶晝  
 の如く萬國の船艦鳳城の下  
 輻湊し通商盛に行はせ珍  
 奇狼戾し百貨山積を實は世  
 界五大都の一其繁華たる鈍  
 筆のよき盡く霞を何んぞ  
 筆のよき盡く霞を何んぞ

○皇城及び諸省局地位

○皇城 豊島郡東京の中央まで周囲二十  
 町十五間余。元康正年中大田道  
 灌の築きし城ありと近年近徳川  
 氏の居城とあり要害堅固の名城

あり○明治元年十月鳳皇東幸  
 より萬世皇城と成り○明治  
 六年五月五日皇城内炎上せし  
 より聖上皇后宮より赤坂離宮  
 へ御遷坐せ  
 せられたり

- 太政官 宮内省内
- 宮内省 御所内
- 元老院 第一大區一小區 祝田町
- 外務省 霞南二百失火後 御濱延邊館二飯
- 内務省 第一大區二小區 大手町一丁目
- 勸業局 四ッ谷内藤新宿
- 驛邊局 江戸橋四日市
- 警視局 八代洲町
- 大藏省 第一大區二小區 大手町二丁目 神田橋内
- 陸軍省 第一大區三小區 有樂町一丁目 小石川神田川べり
- 造兵司 常盤橋内
- 武庫司 第一大區十小區 築地四丁目
- 海軍省 第一大區二小區 竹橋御門外
- 文部省



○工部省  
 第一區 四小區  
 鐵道局 築地、汐留  
 電信局 木挽、町  
 鑛山局 永田、町  
 工作局 三田、出張所

○司法省  
 第一區 二小區  
 八代洲町二丁目  
 上等裁判所 同  
 東京裁判所 同上

○東京府  
 第二區  
 幸橋、内  
 東京書籍館 第四區 湯島四丁目

○警視各方面 管轄所

第一分署 馬場先町	第一區 一三小區
第二分署 西福田丁	第一區 四五小區
第三分署 京橋	第一區 六九小區
第四分署 坂本町一丁目	第一區 十五小區
第五分署 兩國廣小路	第一區 十五小區
第六分署 新幸町	第二區 二三小區
第七分署 芝官本町	第二區 三五小區
第八分署 赤羽根橋除	第二區 六七小區
第九分署 芝車町	第二區 九十二小區
第十分署 品川	第三區 二五小區
第十一分署 牛込神樂丁	第三區 三五小區
第十二分署 赤坂表町一丁目	第三區 一七小區
第十三分署 赤坂裏町二丁目	第三區 九十一小區
第十四分署 四谷傳馬丁二丁目	第三區 一七小區
第十五分署 内藤新宿	第四區 一六小區
第十六分署 小川	第四區 一七小區
第十七分署 本郷森川町	第四區 一七小區
第十八分署 本郷森川町	第四區 一七小區

大區 全三署 同元富士町	第四區 四五小區
大區 全四署 牛込水道丁	第四區 九十一小區
大區 全一署 淺草九町	第五區 一二五小區
大區 全二署 上野西黒門丁	第五區 三四七小區
大區 全三署 淺草花清丁	第五區 六八九小區
大區 全四署 同田町一丁目	第五區 一七二小區
大區 全五署 下谷金杉上町	第六區 三四五小區
大區 全一分署 深川仲町	第六區 一三小區
大區 全二署 東森下町	第六區 三三小區
大區 全三署 兩國橋東結	第六區 六七小區
大區 全四署 北本町橋場町	第六區 一四小區
大區 全四署 北本町橋場町	第六區 一四小區
各千住北組	下板橋
分品川大森村	本所 太平町
署駒込妙義坂下	
河上警察出張所	深川相川町

○裁判所

○上等裁判所 第一區 代洲町二丁目  
 ○東京裁判所 全 鍛冶橋内  
 ○區裁判所 第二區 西久保巴丁  
 第三區 富士見丁  
 第五區 二長丁  
 第六區 本所林丁

○電信局

但各所への電信賃錢  
 表ハ別表下出ル  
 本局 一 大區 本所丁  
 分局 全 日本橋際  
 全 築地明石町  
 全 兩國橋際吉川町  
 全 二大區 赤羽根  
 全 三大區 麹町十二丁目



全 全  
 四大區本郷三丁目  
 五大區淺草寺前

六 郵便局

一大區江戸橋本局  
 二大區芝口一丁目  
 全芝田町四丁目  
 三大區麹町三丁目  
 全横山町三丁目  
 全飯倉町三丁目  
 全麻布宮下町  
 全牛込岩本町



赤坂一ツ木町  
 四大區本郷四丁目  
 全小日向水道町  
 六大區源川万年町  
 全六間堀町  
 全千住  
 全王子  
 全湯島一丁目  
 全五大區五軒町  
 全淺草並木町  
 全本所相生早  
 全板橋  
 全品川

七 驛逓局貯金預り局

一大區 驛逓局  
 二大區 芝口一丁目  
 全 三河町二丁目  
 全 變岩下四丁目

全	本石町一丁目	全	芝三崎町
全	佐内町	全	飯倉三丁目
全	具服町	全	芝田町四丁目
全	五郎兵衛町	全	全本郷二丁目
全	南傳馬町三丁目	全	麻布宮下町
全	新富町三丁目	三大區	麹町三丁目
全	神田鍋町	全	神樂町二丁目
全	馬喰町三丁目	全	下官比町
全	横山町三丁目	全	牛込岩本町
全	堀船町三丁目	全	赤坂一ツ木町
全	小傳馬町三丁目	全	麹町土一丁目
全	田所町	全	四谷傳馬町
全	小傳馬町三丁目	哭區	小石川大門町
全	新松町	全	本郷二丁目
全	淺草須賀町	全	湯島一丁目
全	神田松永町	全	小日向水道町
全	全五軒町	全	深川万年町
全	淺草並木町	全	全東區間堀町
全	全田町一丁目	全	本所相生町
全	九大區駒込芝田町	全	中郷元町
全	十大區下谷金杉上町		
全	千住南組		

八 官立學校

寶田學校 七小區材木町  
 城東學校 六小區大工町  
 常盤學校 五小區本町一丁目  
 築地學校 十小區築地三丁目  
 櫻池學校 十小區東松本町  
 久松學校 十三小區久松町  
 有馬學校 十四小區堀船町  
 區大 一  
 區大 二  
 區大 三  
 區大 四  
 區大 五  
 區大 六  
 區大 七  
 區大 八  
 區大 九  
 區大 十  
 區大 十一  
 區大 十二  
 區大 十三  
 區大 十四  
 區大 十五  
 區大 十六  
 區大 十七  
 區大 十八  
 區大 十九  
 區大 二十  
 區大 二十一  
 區大 二十二  
 區大 二十三  
 區大 二十四  
 區大 二十五  
 區大 二十六  
 區大 二十七  
 區大 二十八  
 區大 二十九  
 區大 三十  
 區大 三十一  
 區大 三十二  
 區大 三十三  
 區大 三十四  
 區大 三十五  
 區大 三十六  
 區大 三十七  
 區大 三十八  
 區大 三十九  
 區大 四十  
 區大 四十一  
 區大 四十二  
 區大 四十三  
 區大 四十四  
 區大 四十五  
 區大 四十六  
 區大 四十七  
 區大 四十八  
 區大 四十九  
 區大 五十  
 區大 五十一  
 區大 五十二  
 區大 五十三  
 區大 五十四  
 區大 五十五  
 區大 五十六  
 區大 五十七  
 區大 五十八  
 區大 五十九  
 區大 六十  
 區大 六十一  
 區大 六十二  
 區大 六十三  
 區大 六十四  
 區大 六十五  
 區大 六十六  
 區大 六十七  
 區大 六十八  
 區大 六十九  
 區大 七十  
 區大 七十一  
 區大 七十二  
 區大 七十三  
 區大 七十四  
 區大 七十五  
 區大 七十六  
 區大 七十七  
 區大 七十八  
 區大 七十九  
 區大 八十  
 區大 八十一  
 區大 八十二  
 區大 八十三  
 區大 八十四  
 區大 八十五  
 區大 八十六  
 區大 八十七  
 區大 八十八  
 區大 八十九  
 區大 九十  
 區大 九十一  
 區大 九十二  
 區大 九十三  
 區大 九十四  
 區大 九十五  
 區大 九十六  
 區大 九十七  
 區大 九十八  
 區大 九十九  
 區大 一百







三等 金五十錢 全三十錢 二十錢

九 官立病院

東京府病院 二大區愛宕下丁目  
 全第一分局 馬喰町四丁目  
 全第二分局 深川西平野町  
 警視第一病院 一大區坂本町三丁目  
 全第二病院 二大區愛宕下三丁目  
 全第三病院 三大區麹町八丁目  
 全第四病院 四大區本郷元町  
 全第五病院 五大區浅草須賀町  
 全第六病院 六大區深川八名川丁  
 東京醫學校 四大區本郷元町  
 右何きも何入るても勝手な診察を乞ふ  
 事なく東京府病院は毎日午前九時  
 より午後二時まで警視病院は午前八  
 時より正午十二時まで但し急病を此  
 限る可し

十 御大祭并禮服着用日

四方拜	一月一日	元始祭	一月三日
新年宴會	一月五日	孝明天皇祭	一月三十日
祈年祭班幣	二月四日	紀元節	二月十日
神武天皇祭	三月三日	神嘗祭	九月十七日
天長節	三月三日	新嘗祭	十月廿三日

右の日ハいづれも國旗を出せ  
 一 諸役所とも休暇して正しき  
 朝廷の御式ふれハ能く守つて此  
 祭日を祭るべし

政治始	一月四日	消防人出初	一月四日
陸軍始	一月八日	學校始	一月八日
海軍始	一月九日	御歌始	一月十日

大禮服着用日

新年朝拜	元始祭
新年宴會	伊勢高宮制祭
紀元節	神武天皇例祭
孝明天皇例祭	天長節

通常禮服着用日

參賀	禮服御用召
叙任御禮	
招魂祭	

一月十七日 七月四日



































⑤ 迷子報標

兩國橋西際 一石橋南際 淺草

觀音中見世 三赤羽根橋際

御公達揭示

日本橋南際 其外警視署裁判所  
區務所の前より

⑥ 東京繁華の地

銀座通煉瓦石屋 京橋より新橋  
迄数街の間石

又も煉瓦石を以て築きたる西洋造りの  
家屋軒を並べ煙突空中に聳る街道  
は一ニ條は花木を植え布くは磚石を



銀座通煉瓦石屋

以て中央を馬車道と一兩側  
を人道と其清潔美麗なる人  
を以て異域に入るの想を為さし  
む就中日々新聞社の如き八間  
口十間余壯樓高く聳ひ祝日の  
夜も前面の招牌火光を吐て社  
跡を現し人々奇と稱し麗と  
稱す実小一奇觀あり

○第一國立銀行

海運橋  
虎町

在り石或も煉瓦石を以て築  
ける数層の高樓より其宏  
壯麗なる官省を除くの外  
日本第一と稱すべし又  
米相場の會社たり米商軒  
を並べて相隣り實小繁華  
の一坊なり

○駿河町三ツ井

三ツ井  
呉服店

日本橋より筋違の間駿河  
町あり越後屋と稱し人の  
知る家なり明治六年巨大の  
呉服店を新築し又街道を  
狹て北隣に煉瓦石の三階屋  
を造營し三井銀行と稱し  
為替等の取扱を為し屋上は  
一ツの彌きのみ亦一奇觀あり

名所古跡或も繁華の地  
佳麗の官舎家屋等あり



冊子のよき盡を愛み何ら  
片略二編に記載をべし

⑤ 高名の橋梁

日本橋

明治五年十一月成る洋風本  
造欄干を四條に設け橋上  
を三道に分ち兩側を人道と  
し中央を車馬道とす

江戸橋

明治八年四月成る石橋  
四日市より本松町に架く  
長さ二十間余幅八間其中  
央四間を馬車道兩側を人道とす

荒布橋

明治九年 成る石造  
本松町より小松町に架く



新橋

明治四年改造せり鉄橋  
鉄欄干あり海手小蒸氣  
車のステーション在り故に  
尤繁華の地あり

萬世橋

神田川に架け俗に目鏡  
橋といふ石造あり  
旧淺草見附に入口に架け  
堅緻の石造あり

淺草橋

箱崎より深川に架け明  
治七年鉄材取り交せ堅  
牢の橋を架け長さ凡そ  
百七間と云都下第一の大橋也

永代橋

濱町より深川六間堀に架  
け長さ凡そ百八間といふ

新大橋

吉川町より本所元町に架  
け長さ凡そ九十六間といふ  
明治八年壯麗無双の橋を  
架け此地古来繁華の地  
にして四時遊人の絶えざ  
るとあり殊に七月川開ぎに  
号し煙火を揚ぐ数万  
の觀客河上岸頭を草集  
り更なる鐘を立の地より  
不至る實に一壯觀なり

西國橋

淺草三好町より本所石  
原に架け橋長さ一厘五毛  
淺草より隅田堤へ到る  
長さ七十六間といふ

厩橋

奥羽街道の入口より隅  
田川の上流より

東橋

南傳馬町より銀座に架け  
明治七年堅牢の石造に改

千住大橋

田川の上流より

京橋

明治七年堅牢の石造に改





造セリ長と十一間巾八間  
西側を人道と中矢を馬  
車道と橋際の角を讀  
賣新聞社あり並の煙  
突空中より聳い蒸氣機  
関を以て毎日数万の新  
聞紙を摺出と大繁盛  
なり

鎧橋

茅場町より小細町へ架  
と京渡一場あり  
明治五年三井小野嶋田の三石  
自費を以て始て木橋を架と  
日本橋を並び西の川上  
小架は此橋上より八橋  
を願望をを以て俗に  
ハッ見ッ橋と云

一石橋

猶橋川等百余たり部分け

みして二編に記載せし

其渡一場

- 靈巖嶋渡 深川相町より其ノ島へ 渡一丈 三厘
- 中洲の渡 永代と大橋との間あり 渡一丈 二厘
- 安宅渡 廣町より本野安宅へ 渡一丈 一厘五毛
- 千歳渡 矢ノ倉より本野千歳場へ 渡一丈 一厘五毛
- 横綱渡 淺草代地より本野横綱へ 渡一丈 二厘五毛
- 駒形渡 駒形堂より本野へ 渡一丈
- 隅田川の渡 向嶋より淺草山谷へ 渡一丈 三厘
- 竹屋の渡 向嶋より淺草へ 渡一丈 三厘
- 本所吾目渡 堅川通り吾目龜井戸より五百うらんだ道 渡一丈 三厘
- 市川の渡 武蔵下徳の堺 渡一丈 三厘
- 行徳の渡 中川 渡一丈 五厘
- 逆井の渡 渡一丈 五厘

有名新聞雜誌類

東京日々新聞 尾張町一丁目 一枚三錢一月半錢



郵便報知新聞

東京研堀町世八番地  
一紙三錢一月六十八錢



朝野新聞

銀座四丁目  
一紙二錢三厘一月五十五錢

曙新聞

銀座四丁目  
全一錢七厘二月甲支

讀賣新聞

銀座一丁目  
全一錢一ヶ月二十錢

内外兵事新聞

今川小路三丁目  
全七錢五厘

繪入新聞

銀座一丁目  
全一錢一ヶ月二十錢

假名讀新聞

弥生二丁目  
全一錢一ヶ月二十錢

魁新聞

尾張町二丁目  
全一錢一ヶ月十九錢

民間雜誌

三田二丁目  
全四錢

近事評論

尾張町二丁目  
全四錢

問答新聞

南金六町  
全三錢八厘

團々珍聞

神田雉子町  
全五錢

花月新誌

銀座四丁目  
全四錢

五十日誌

銀座三丁目  
一部三錢

東京新誌

新橋竹川町  
全五錢

洋々社談

全三錢五厘

開農雜報

神田連雀町  
全四錢

農業雜誌

麻生江戸川町  
全三錢

内外記事

新橋竹川町  
全三錢

教育新誌

神田美土代町  
全三錢

工業新報

新橋竹川町  
全五錢

日曜新聞

宗十郎町  
全七錢五厘

新富座

築地新富町、在リ羽  
治五年猿若町三丁目

劇場及貸座敷

築地新富町、在リ羽  
治五年猿若町三丁目

新富座

築地新富町、在リ羽  
治五年猿若町三丁目

新富座

築地新富町、在リ羽  
治五年猿若町三丁目



○新堀座

元新堀座より移り森田座と  
以後新堀座と改む  
芝居町に在り明  
治七年より此地を開き  
始の河原崎座と以後  
ちよ改名す

○都座

淺草猿若町一丁目  
全二丁目あり今  
中橋上榎町あり今

○宮本座

八松町河岸あり

○中橋座

彌売町一丁目あり

○喜昇座

本郷春木町一丁目在り

○中嶋座

四ツ谷津の守坂上

○奥田座

本町緑町あり

○桐座

春秋兩度兩國回向  
院境内あり定  
例より明治十年五  
月より此所と興行キ  
るを禁せらる

○壽座

淺草金龍山の北田前  
あり総丁五ヶ町あり  
故に五町街といふ元と慶  
長のころ駿州吉原より

○定相撲

元根津神社の境内より  
て八重垣町あり

○根津

東海道より皇都の入口  
あり海を臨み眺望の地あり

○品川

甲州海道より皇都の入口  
あり内藤新宿と唱ふ

○新宿

中仙道より皇都の入口  
あり亦繁昌の地あり

○板橋

奥羽海道の入口あり  
上下二組に分つ

○千住

明治六年 娼妓の束縛を解り  
れより皆貸座敷となり娼  
妓ハ皆出稼となりて大に此  
地の景情を一變せり其貸  
座あり及び娼妓の敷外  
此郭内の幸ハ明細圖を添て  
(郭のまがきまひ)といふ出版  
の書に委しけり

京橋の東に移り其後元和  
三年今の大門通りより住吉  
町辺まで葦の原を開きて  
移り故に葦原といふ  
其後明暦三年今の地  
に移り吉原と改む



⑤有名の温泉

駒込蓬萊町 <small>湯草津</small>	浅草福井町 <small>新湯</small>
蠣壳町 <small>三益樓</small>	深川安宅町 <small>温泉</small>
濱町二丁目 <small>三益樓</small>	新大橋際 <small>サウナカ</small>
蠣壳町 <small>枕流亭</small>	深川高橋
烏森町 <small>運明軒</small>	下谷七軒町 <small>養生軒</small>
小川町後樂町 <small>報春軒</small>	本所横網 <small>保生軒</small>
神田松下町 <small>保齡軒</small>	木挽町 <small>真治軒</small>
稻荷堀 <small>松川</small>	浅草鳥越 <small>延壽軒</small>
浅草六郷跡 <small>蘇生湯</small>	浅草田町 <small>快浴湯</small>
神田錦町	深川五平町 <small>亀の湯</small>
田原町三丁目	西國村松町
馬喰町火見下 <small>和倉湯</small>	四谷湊賀町
本所一ツ目 <small>黄金湯</small>	杉ノ森
三田三丁目 <small>小山</small>	向嶋

温泉室内射撃銃ホロと増加中  
猶二編も出ル

⑥拜觀の地

○吹上御庭

天子御遊觀の御庭より其美麗なる華紙の盡しを愛まらるるよし明治八年官員と華族各拜觀を許されたり

○濱離宮御庭

このハ、鍊道館の南に在りて海に臨み遠く徳房の連山海上の涯より隱現し百花清波に映し實に奇勝なりと苑中別々延遠館を設けこれ外國公使を饗應する麗館あり明治八年官員と華族各拜觀を許されたり

○博物館

幸橋内より金石草木魚虫の類より天工人工を論ずり古今を問ひ凡そ世界万国の珍物数万種を集め館内に羅列して平民男女に至るまで切手を賣て見るを許る事

○公藥園

小石川戸崎町より氷川の間より各國の藥料より數種の草木を植へ又青山恩田より四時の風景何れも所雅あり時よりて万民拜見を許さる事

⑦公園

公園ハ万民相持の遊觀所あり

○浅草寺奥山

明治六年より公園地とせしめ四季の草花あり



毎日万民群集、四季遊客絶る

景之音観草茂



○上野公園

彼岸樓一重樓多く四月一日より觀客大に群集目下不忍池を臨み絃歌を禁上品の遊觀場あり明治十年八月園内内國勸業博覽會を催され一層の美を増せり

○芝公園

増上寺の境内に新街を開き大に繁華あり西は丸山と稱せし高岳あり遠望頗る佳絶あり

○飛鳥山

明治六年公園地と定めらるる櫻もみか芋多く遙北方菜波山を望み眺望尤もよ

○深川八幡

明治六年公園地と定めらるる櫻山吹おあり又ハ富士山あり風景頗り小

世三 公園遊園遊觀の地

三十三間堂あり昔古く射街を習ふ

○向嶋百花園

新梅や秋の七草

○亀井戸

梅ぞのふぢ

○木下川

梅ぞのい

○小村井

梅ぞの

○千駄木團子坂

四季の草木てふ植つくり菊

○田畑村

梅ぞの

○隅田堤

櫻八重よしの花多し

○音羽護國寺

さくら志ま

○根津大神

桜のみぢ

○日暮

さくら志ま

○青山十二社

たき

○四谷元津の守館

たき

○染井元柳澤邸

四季の花

○千駄木元太田邸

さくら



○ 澁谷元富士	わろくさ きみち眺望
○ 澁谷新富士	つと草の 眺望
○ 洲崎辨天	汐す 干
○ 堀切村	花やうぶ
○ 瀧の川	新樹たき ち
○ 忍岡辨天	蓮の花
○ 王子村	たき まろくさ
(七) 四季遊観案内	
看雪	偶田堤 御茶の水 九段坂 上野 隅田川 愛宕山
鶯	二月廿日頃より。小石川鶯谷 谷中鶯谷。寺附水店。根岸 三月一日頃より。向島梅莊。浅草奥山 龜井戸梅莊。向島愛花園。蒲田山本
梅	彼岸櫻 四月一日ころより 一重桜 四月六日ころより 八重桜 四月十五日ころより
桃	隅田堤 飛鳥山 上野公園 日暮里 九段坂 小金井 四月十日頃より 大澤 驛
梨花	四月廿日頃より 生 麦 村
山吹	四月十日頃より 隅田百花園 大森山本園

汐干	四月大汐前後。洲崎。芝浦 佃嶋沖。呂川沖。中川沖 よめ志。はくし。たんち。とらうき
摘草	廣尾原。隅田堤。其外田浦 四月三十日頃より
葉櫻	隅田堤。上野公園 五月六日頃より。漆井植木屋
躑躅	大塚護國寺。品川東海寺。日暮里 五月十日頃より。忍ヶ岡。駿河臺
杜鵑	根岸谷中辺。隅田寺為辺 五月十日頃より。寺嶋百花園
牡丹	目黒内田。漆井植木屋 五月十日ころより
牡若	寺嶋百花園 五月十五日頃より。隅田愛花園
花菖蒲	堀切 五月廿日頃より。目黒中のふじ 野 田。龜井戸天神内
藤	五月廿日頃より 五月廿日頃より 寺嶋百花園。漆井植木屋
芍薬	六月廿日頃より。目黒辺 所澤へん
卯の花	六月十五日頃より。浅草田甫 谷中蛭澤。江戸川。王子へん 小石川田甫。隅田辺。根岸田 関谷見橋。御茶の水。水通り
螢	七月七日頃より 綾 瀬
含歡花	七月七日頃より
水鶏	六月中旬より十月頃まで。根岸 橋場。寺嶋村。砂村
納涼	西園六月廿八日河ひらき(今八月) 大川通。隅田川。不忍池辺



瀑布 王子稻荷。四瀧の川。四辨天  
目黒不動。角々村。其外所々



魚釣 深川木場辺。大川通。品川沖  
佃嶋沖。立川

釣堀 向嶋。浅草田圃。本所津輕辺  
深川黒船稻荷。小石川春日町

蓮 七月廿五日頃より。木母寺  
不忍の池。溜池。三田社の側

朝顔 七月十八日頃より  
深井植木屋。入谷

虫聞 七月十八日頃より。御茶水。さむむ  
王子辺。外櫻田御堀。た。も。む。む  
廣尾原。根岸。つ。む。む  
大塚の原。葉鴨庚申塚

秋の七草 八月廿五日頃より  
寺嶋百花園

萩 八月廿五日頃より。寺嶋蓮花寺  
亀井戸秋寺。全愛花園

雁 隅田関屋の里。深川洲崎  
吉原田圃

木子 駒場野  
池上の山

月 隅田川。綾瀬。深川洲崎  
高輪海岸。九段坂。玉川

千鳥 中川。洲崎。佃嶋  
鈴ヶ森。荒井ヶ崎

菊 十二月十日頃より。深井。目黒  
道々菊。赤鴨。せん。坂。浅草泉山  
二月十五日頃より。海曇寺  
龍の川。東海寺。鴻の臺

紅葉 龍の川。東海寺。鴻の臺

⑤ 毎日魚市場

日本橋小田原町 同 せん 場

四日市 築地小田原町

浅草花川戸 深川高橋

芝雅魚場 同 仲 町

芝大門 芝 田 町

四谷傳馬町 千住 川魚類

⑤ 毎日青物市場並古道具

神田田町 日本橋北際 料理

両國廣小路 一ツ目橋南際

本所四ツ目 本所中の郷

駒込土物店 京橋大根川岸



神田筋違外 <small>は</small>	青山火保町 <small>は</small>
下谷坂本札の辻	下谷金杉
品川觀音前	千住 <small>は</small>
音羽九丁目	大久保 <small>のたけ</small>
白銀猿町	四ッ谷傳馬町 <small>は</small>
神田須田町 <small>市菓物</small>	

○毎日古着市場

富澤町	村松町
橘町	柳原土手通

○植木市

茅場町	藥師	八日	十二日
藥研堀	金比羅	十日	
	不動	廿八日	
牛込神樂坂	比まやもん	虎ノ日	
下谷上野町	まろーてん	亥ノ日	
日本橋西河岸	地蔵	十四日	廿四日
神田小柳町	ひーたん	六日	

本郷四丁目	藥師	八日	十二日
小石川傳通院	大黒		甲子の日
下谷廣小路	大師	三日	十日
品川			十五日
牛込矢来町			十七日
淺草雷神前	くもんあん		十七日
蠣壳町	水天宮		五日
虎の門	金ひ		十日
麴町平川	天神		廿五日
淺草山谷	ひーたん		虎の日

○毎夜雜物市

神田余川橋邊より須田町辺まで

人形町通り	淺草雷門前
通り町	尾張町
四ッ谷大横町	麴町三丁目
牛込神樂坂	芝飯倉ッ辻

二十四



水道町 馬喰町

八町堀仲の橋通り

本郷二丁目より三丁目まで

○有名神社

神武天皇社 芝天教院に勧請せ  
祭日 四月三日

東照宮 上野山内忍岡の頭より  
祭日 四月十七日

招魂社 飯田町富士見町より  
祭日 一月廿四日 四月廿日

皆國家の為に忠死せし人々を祭る  
祭日 競馬相模花火等あり門  
前の側より自然石を以て築きたる  
燈臺より薄暮より火を照せ



九段坂招魂社之景

不忍辨天 不忍の池の中洲より  
最も納涼よ

秋葉社 神田佐久間町より  
祭日 十一月十六日

太神宮 下谷西鳥越町  
祭日 毎月十七日

山王神社 麹町永田馬場より  
祭日 隔年 六月十五日

神田神社 湯嶋より  
祭日 九月十五日



神明田神

牛頭天王 三社あり祭礼當日ハ  
氏子町々神輿わたる

須賀神社 祭禮六月七日  
南傳馬町仮社

八雲神社 祭禮六月五日  
小舟町 仮社

八雲神社 祭禮六月五日  
大傳馬町 仮社

赤坂氷川神社 赤坂今井より  
祭日 六月十五日

白山神社 全所指ヶ谷町より  
祭日 九月廿一日

市ヶ谷八幡 市ヶ谷外龜ヶ岡より  
祭日 八月十五日



根津神社

根津園子坂の基あり  
祭日 九月二十一日

芝大神宮

芝神明町あり  
祭日 九月十六日

富岡八幡宮

深川より深川八幡と  
祭日 八月十五日

宰府天満宮

亀戸村に在り亀戸天神  
と云 八月廿五日



澁谷八幡宮

中渋谷あり  
祭日 八月十五日

湯嶋天満宮

湯嶋切通し上あり  
祭日 八月十一日

牛天神社

小石川金杉あり  
祭日 五月二十五日

氷川神社

全所氷川田浦あり  
祭日 九月十日

八幡宮

飯倉一丁目あり  
祭日 八月十五日

三田八幡宮

芝田町七丁目あり  
祭日 隔年八月十五日

平川天満宮

平川町あり  
祭日 八月廿五日

熊野神社

青山原宿町あり  
祭日 隔年九月廿一日

三社

淺草觀音境内あり  
祭日 隔年三月十八日

赤城天神

牛込神樂坂其の裏あり

妻戀神社

妻こひ坂あり

八幡神社

御藏前福井町あり  
祭日 八月十五日

鳥越神社

元鳥越町あり  
祭日 隔年六月九日

下谷神社

南箱荷町あり  
祭日 隔年三月十一日

洲崎辨天

深川洲崎の海濱に在り

八幡神社

仙臺ヶ谷二丁目あり  
祭日 九月廿七日

吾孀社

亀戸村ありあつまの  
と云

三圍神社

小梅村田の中あり

牛嶋神社

同所北須寄村あり  
祭日 隔年九月十三日

秋葉神社

同所請地村あり  
祭日 十月十八日

白髭神社

同所寺島村あり  
祭日 九月十五日

水天宮

蛸壳町三丁目有馬堀内  
毎月一日十五日廿八日

加藤神社

濱町二丁目細川邸内  
毎月廿四日

楠公社

矢の倉十一番地あり



愛宕神社

愛宕山の上あり、中上より、京市中あり、品海の臺場、軍艦等を眼下見おろし、遙く徳房を望む

琴平神社

虎の門外、京極町内、毎月十日

有名の佛堂寺院

上野寛永寺

下谷上野あり、今公園地あり、山内一重、数多あり、花の頃見物、葦集を、明治二年五月、彰義隊此所を屯集し、官軍と戦ひ、遂に敢死を、明治八年、高さ二丈五尺余の唐銅の墓碑を、建て、其幽魂を慰む、櫻樹の間、清水観音の堂あり



浅草寺観音

浅草あり、緑日十七日、十八日、金龍山と号す、毎日万人群集、府下第一の繁昌地あり、奥山は八四

季の花有り、今公園地となり、公園の都を見合せし

護國寺観音

音羽町北にあり、緑日十七日、十八日、明治六年、此地皇三の山陵とあり、豊嶋岡と換唱せ

芝増上寺

芝に在り、徳川將軍の寺、一して大い美を盡す、明治六年、大教院となり、其後、火災あり、小なり、大い衰頽せり、今公園地あり

鬼子母神堂

雑司谷にあり、緑日一月、廿一日、廿二日、芝高輪あり、赤穂義士、七人の墓あり、木像あり

泉岳寺

泉岳寺の南隣にあり、芝の火治とけと云

如來寺大佛

小石川にあり、緑日、甲子の日、浅草新堀にあり、俗浅草門跡と云

東本願寺

本所五ツ目にあり、五百余の佛像あり

五百羅漢

深川寺町にあり、深川第一の大寺也、兩國橋の東にあり、例年、兩度大相模必を、此寺内にて興行せ、明治十年五月、より禁せらる

靈巖寺

柳蔭あり、緑日、一日、十五日、廿八日、築地にあり、築地門跡と云へり

回向院

西本願寺



明治五年二月大火の節焼失後  
今あり

善福寺

麻布あり  
逆銀あり

妙法寺祖師

堀の内村あり  
十月十三日参詣尤多し



總持寺大師堂

西新井村あり  
毎月廿二日開帳

帝釋天王

葛西柴又村あり

祐天寺

中目黒あり

新井薬師堂

上高の西新井村  
八月十日参詣賑多し

目黒不動堂

目黒村あり  
有名の滝あり



目赤不動

駒込浅香町あり

吉祥寺

駒込吉祥寺町あり

成田不動旅所

深川八幡の隣あり  
毎月廿八日参詣多し

①府下神仏堂寺総数

○府下神社の數

大凡二百社

○浄土宗寺院

四百三十七

○法華宗寺院

四百三十四

○禪宗寺院

三百二十二

○天台宗寺院

二百三

○一向宗寺院

百八十九

○真言宗寺院

百八十

○時宗寺院

五

○觀音薬師地藏比沙門の類

堂宇大略

百二十八

右の如く諸人の尊信せし  
神社佛宇甚く多し故に二



編に其類を分けて記載  
すべし

⑤ 六阿弥陀

- 一番 長福寺 足立郡本木 二町一(九丁)
- 二番 應味寺 同 下沼田 三町一(十五丁)
- 三番 長福寺 豊嶋郡西ヶ原 四町一(十丁)
- 四番 興樂寺 同 田々 五町一(廿五丁)
- 五番 長福壽寺 同下谷廣小路 六町一(二里半)
- 六番 常光寺 かつ志り郡龜井戸

⑥ 六地藏

- 一番 品川寺 品川
- 二番 大宗寺 四ツ谷
- 三番 真性寺 すがも
- 四番 東禪寺 山谷
- 五番 靈巖寺 深川
- 六番 永代寺 深川

⑦ 七天神

- 龜井戸天神 本所
- 湯嶋天神 湯嶋切通
- 平川天神 糺町平川
- 牛天神 小舟水道端
- 大久保天神 大久保
- 五條天神 下谷山下
- 芦屋天神 千住大橋北

⑧ 七福人

- 大黒天 上野 護國院
- 布袋 下谷 日暮里
- 辨才天 西ヶ原 不忍池
- 福祿壽 谷中 西行菴
- 毘沙門天 谷中 天王寺
- 壽老人 谷中 長安寺
- 惠比須 浅草 浅草寺内



東京日用雜記

標札書式

他の小區他の町村より寄附して一戸を  
 びせ者も各其本籍の小區或ハ町村番  
 地を肩書として一紙五寸横二寸五分より  
 小あし屋のし付書体を楷書を用いてし

本籍の者  
 戸主名札

華士族平民  
 氏名

他管より  
 寄附して  
 一戸をか  
 せ者

某府縣華士族平民  
 氏名

他の大區  
 より寓居  
 して一戸  
 をあす者

某何大區華士族平民  
 氏名

○同居付籍或ハ他家より寄留寓居其他便  
 宜の為各自名札標出せし者左の  
 書式を用ふ事

同居の者

華士族平民  
 同居 氏名

付籍の者

華士族平民  
 付籍 氏名

寄留の者

某府縣華士族平民  
 寄留 氏名

寓居の者

某何大區華士族平民  
 寓居 氏名

家族の者

家族 氏名

府内郵便及び金子入書状

○書状一封目方二匁迄一匁四匁迄二匁  
 四匁迄四匁

○新聞一号 十六匁迄五厘  
 二号以上一匁三匁迄四匁

○別配達 朱引内外  
 六匁

○たしかり 五厘

○金子入書状 五圓迄 一匁五厘

拾圓迄 二匁 廿圓迄 三匁

三十圓迄 四匁 五十圓迄 五匁

金子入書状は金子入書状取扱  
 所の看板に郵便扱所へ持  
 参よるし受付の翌日配達  
 也







①東京ヨリ各地和文電信賃

○片仮名二十字を以て一音信と定む其  
余も十字毎に半價を拂ふなり。○  
宿所名宛を無賃なり。○左に記す  
るは則ち一音信の賃なり。

東京内	五錢	横濱迄	七錢
山原沿津	九錢	静岡	岡 十一錢
濱松	十二錢	岐阜	阜 十七錢
名古屋	十五錢	彦根	十九錢
西京	廿一錢	大坂	廿三錢
神戸	廿五錢	姫路	廿七錢
岡山	廿九錢	廣嶋	廿三錢
山口	卅五錢	馬關	卅七錢
熊本	四十錢	長崎	卅三錢
北海道 宇都宮	八錢	福島	十四錢
仙臺	十七錢	盛岡	廿三錢
青森	廿八錢	松前	卅三錢
小樽	卅八錢	箱館	卅三錢

其外府々略中、大抵前  
後を見て知るべし。

②東京ヨリ中仙道  
郵便馬車賃錢表

東京ヨリ	乗合入	馬車荷	百目以上
板橋迄	十錢	三錢	一錢五厘
蕨	二十五錢	円	円
浦和	三十錢	円	円
大宮	三十五錢	円	円
上尾	卅八錢	円	円
桶川	五十五錢	円	円
鴻巣	六十五錢	円	円
熊谷	八十五錢	円	円
深谷	一圓	三錢五厘	二錢五厘
本庄	一百十五錢	円	円
新町	一百廿五錢	円	円
板鼻	一百三十錢	円	円



倉野	一四三錢	同
高崎	一四四錢	同
中瀬	一四五錢	同
平塚	一四五錢	同
境町	一四七錢	同
伊勢崎	一四三錢	同
駒形	一四三錢	同
前橋	一四四錢	同

租手荷物五百目迄ハ無賃其外八日  
方ニ應シ賃錢を申受ル事

㊦同社紙幣遮送料

東京ヨリ熊谷迄上ニ記セル何  
レノ宿驛ニテモ紙幣

五圓迄	三錢	拾四迄	四錢
廿五圓迄	六錢	百圓迄	十錢
以上千圓迄	九錢	千圓以上	八錢
百圓三付	九錢	百圓三付	八錢

同熊谷ヨリ先キハ何レノ宿驛ニテモ

五圓迄	四錢	拾四迄	五錢
廿五圓迄	七錢五厘	百圓迄	十三錢
以上千圓迄	十一錢	千圓以上	十錢
百圓三付	十一錢	百圓三付	十錢

東京萬世橋内  
廣運舎

㊦東京ヨリ 乘合馬車賃錢表

東京ヨリ	一人二付	三付目迄	六付目迄
千住	十四錢	四錢	六錢
草加	三十五錢	同	同
越ヶ谷	四十九錢	同	同
糟壁	六十三錢	同	同
杉戸	七十七錢	同	同
幸手	九十錢	同	同
栗橋	一四	五錢	七錢五厘
中田	一四	同	同
古河	一四	同	同
野木	一四	同	同



間々田	一四世三錢	同	同
小山	一四十四錢六	錢	九錢五厘
小金井	一四至四錢	同	同
石橋	一四至八錢	同	同
雀宮	一四至五錢	同	同
宇都宮	一四至七錢	錢	十錢五厘

○上の續き荷物運送賃

幸手迄何 レ宿三モ	六百日ヨリ 一貫目付	一貫目ヨリ 五ノ目ヨリ	十貫目以上 一ノ目ヨリ
以上間々田 迄何レモ	拾錢	八錢	七錢
以上雀宮 迄何レモ	十五錢	十三錢	十二錢
以上宇都 宮迄	十七錢	十五錢	十三錢
	二十錢	十八錢	十六錢
			十五錢

○乗客の手荷も無賃な  
れども其量五百目を越  
ゆるが百目ニ付三錢の  
運賃を請ふべし

○毎日東京發車時刻

○午前五時○午後一時○同七時  
但し出發より九十五時を徑て宇  
都宮へ達すべし  
東京淺草觀音前  
千里軒本社

○東京生井之間川蒸氣賃錢

東京	上等	下等	○小兒四歲 迄六無賃
行徳	廿錢	十二錢	○十二歲迄 八半價
市川	廿五錢	十六錢	○手荷物 五斤まで
松戸	三十錢	廿錢	○無賃
加村	四十錢	廿六錢	○當分の内 運送荷物 物及び禽 獸の活物 も積入不 可
野田	五十錢	卅二錢	○發船の 前下し記 を所其 外切手乗 船賣捌所 を求め乗 船すべし
宝珠花	六十錢	三十八錢	
関宿	六十五錢	四十五錢	
境	七十錢	四十五錢	
中田	七十五錢	五十錢	
古河	八十五錢	五十五錢	



生井迄	九十五丈	六十二丈
<small>右一宿の間 々々大時下 の如し</small>	二十丈	十二丈

○東京より生井の間二艘毎日往復  
生井共出船 午後四時

○東京より古河の間一艘隔日往復

東京出船半日 午前九時  
古河出船丁日 午後九時

蠣壳町三丁目  
深川扇橋猿江町

内國通運會社出張

猶以編小漏たること致

多り引續二篇を出

版し其缺を補ふじ

版權免許 明治十年六月廿六日

編輯 福田榮造

出版 東京第一区十三小區  
濱町三丁目十番地

東京濱町三丁目  
同盟舎出版



會社  
園對  
工運  
心







同盟舍出版書目定價表

音畫 兩引 銅版 校刺 小字 典	銅版懷中本 定價五十錢	新撰 銅版 雅俗 節用 集	同懷中本 同六十錢	以上三書合本	薄用摺洋製 同七十圓三分	增訂 再版 萬通 字類 大全	畫引一冊 同七十圓五分	日本 外史 國史 略字 類	橫本一冊 同銀三十五錢	銅版 最小 掌中 玉篇	極小洋製 同金五十錢	明大 日本 切圖	全部八冊 一冊金五十錢	名乘 字引 附 通俗 名乘 辨解	小本一冊 同十錢五厘	區分 町鑑 附 懷中 東京 案内	銅版繪入 全十六錢	出生 年 月 分 年代 記	一枚摺 同四錢	願屆 諸君 注意 附 懷中 日用 便	三冊合本 摺入 同五十錢	姓氏 字引	小本一冊 全十五錢	訓蒙 天文 圖解	中本二冊 全二十錢	新刺 正字 通	銅版 小本 近出
---------------------------------	----------------	---------------------------	--------------	--------	-----------------	----------------------------	----------------	---------------------------	----------------	----------------------	---------------	----------------	----------------	---------------------------------	---------------	---------------------------------	--------------	------------------------------	------------	--------------------------------------	--------------------	----------	--------------	----------------	--------------	---------------	----------------

此書目係根據同盟舍出版之各種書籍，其內容豐富，種類繁多，包括文學、歷史、地理、科學等各個領域。每種書籍均附有詳細之說明，包括書名、作者、卷數、定價等。此表旨在為讀者提供清晰之參考，以便選擇適合之書籍。所有書籍均由同盟舍精心編排，印刷精美，內容翔實，為各界人士必備之參考資料。



賣捌並發行書林

東京本石町三丁目

江島喜兵衛

大傳馬町三丁目

東生龜次郎

通り三丁目

丸家善七

本町三丁目

榊河梅次郎

馬喰町三丁目

石川治兵衛

横山町三丁目

内田弥兵衛

呉服町

江島伊兵衛

横濱平天通四丁目

池田章吉

東京藥研堀

報知社

日本野郎寺橋讀賣新聞賣捌所

善鳴堂

琴平町 諸新聞賣捌所

靜霞堂

芝三島町

山田屋甚七

通り一丁目

萬屋孫兵衛

銀坐三丁目

井上茂兵衛

大傳馬町三丁目

諸新聞賣捌所

東京



所集三皇

元帝

卷一